

放水訓練を体験

東山幼稚園児が消防署を見学



火を扱うことが多くなるこの時期に、防火に対する気持ちを高めてもらうと11月21日、東山幼稚園の年長園児65人が尾三消防署を見学しました。初めに火事にならないようにするための注意をビデオで勉強した園児たちは、続いて通信司令室を見学。消防士から119番の緊急電話の説明を受けました。そして、最後は5人1組になって放水訓練を体験。防火服を着て消防士になりきった男の子は「ホースって重いんだね」と真剣な表情でホースを握っていました。

木の成長が楽しみ

水辺の緑の回廊植樹会



愛知県では、川に沿って樹木を植えることで水辺の林を再生しようとして、河川岸に緑の回廊を作ることを目指しています。こうしたなか、筋生地内の境川右岸で11月22日、植樹会が開催されました。およそ200人が参加し、シイヤカシなど2,940本の苗が植えられたこの行事。家族4人で参加した、筋生の佐々木博英さんは「土とふれ合えるいい機会ですね。今は緑が少ないので、緑が多くなってほしいな。木の成長が楽しみです」と優しく苗を植えていました。

甘くておいしいね

ミカン狩り体験



農作物の収穫体験を通して農業への理解を深めようと11月17日、中部小学校の3・4年生115人が、三好池東側の東山地区でミカン狩りを行いました。まず畑を所有する三好上の久野公大さんが「ミカンをしっかり手で持ってはさみで切るんだよ。引っ張らないようにね」と説明。その後児童たちは、よく色づいたミカンを慣れない手つきで収穫しました。その場で試食した4年生の女子児童は「少し酸っぱいけど、甘くておいしい」と笑顔を浮かべていました。

世界で一つのアクセサリ作り

とんぼ玉教室



生涯学習講座の一つとして11月20日、とんぼ玉教室が中央公民館で始まりました。ガラス工芸作家の長谷川清恵さんから「ガラスをゆっくり溶かすことがコツ」との指導を受け、9人の受講者はアクセサリ用のとんぼ玉作りに挑戦。青色や赤色のガラス棒をガスバーナーで溶かし、巻き取り棒に溶かしたガラスを付ける工程に取り組みました。初めて体験したという女性は「世界に一つしかないアクセサリ作り。出来上がりが楽しみだわ」とほほ笑んでいました。

国際交流を広めるために

MIA(国際交流協会)国際交流フェスタ



国際交流をしているグループの活動紹介などを通して、国際交流に関心を持ってもらうと11月30日、MIA国際交流フェスタがサンアートで開催されました。三好町で活動する外国人の体験談の発表や意見交換、世界の料理の模擬店、世界の舞踊と音楽の発表などが行われたこの催し。意見交換では「外国人を初めて自分の家に迎え入れたとき、普通に土足で家の中に入ったのでびっくりした」などの話が紹介され、文化の違いを感じている様子でした。

日ごろの練習の成果を披露

秋のロビーコンサート



サンアートでは、音楽活動をしている皆さんに発表する場を提供し、町民の皆さんに音楽に親しんでいただく今年5回、ロビーコンサートを開催しています。11月19日には、秋のコンサートが行われ、みよし少年少女合唱団など二つのグループが、日ごろの練習の成果を披露しました。合唱団のメンバーは、手話による合唱など5曲を発表。お子さんが出演したという母親の一人は「子どもらしく一生懸命歌っている姿に感動しました」と目を細めていました。